

## 議員派遣結果報告

令和元年12月4日(木)、中村時広<sup>ときひろ</sup>愛媛県知事に「地域医療構想の適切な進め方と県立南宇和病院の機能強化に関する要望書」を手渡すため議員派遣を行いました。

## 【派遣結果】

今回の知事要望は、去る9月26日(木)、厚生労働省が、再編・統合の検討が必要な公立・公的病院として愛媛県立南宇和病院の名前を公表したことで、地域住民からの不安や、医療現場からのさまざまな意見が寄せられていることに対し、極めて難しい課題を含んでいることから、地域医療構想の適切な進め方について、愛媛県知事から国に対して地域の声を届けていただき、今後の丁寧な議論となるよう働き掛けていただくことと、これからも引き続き県立南宇和病院の機能強化を図っていただきたい旨の要望を行いました。

これに対し、中村県知事から、「地域医療構想の適切な進め方については、厚生労働省が唐突に公表したことに対し、いまだ詳細な根拠を示しておらず、強い違和感を覚える。今回、地域からも声を届けていただき、併せて知事会でも重要なこととして捉え動きを強めている。特に人命に関わる問題であり、ぜひ町村議会議長会の方でも大いに声を上げていただきたい。特に県立南宇和病院は、圏域の状況からも本当に命の拠点病院であり、全国一律の基準により機械的な数字で議論するものではないということ、こういう機会なので改めて強く声を上げていきたいというふうに思っている。また、県立南宇和病院の機能強化については、ドクターヘリの活用促進に努めるほか、地域医療に携わる研修医に対し、魅力ある環境づくりとして、5Gによる通信手段を活用した最先端の遠隔診療などの可能性を考えている。そうした医師の育成・確保などに努め、地域を支える医療機関として、その機能を強化していくとともに、県立南宇和病院の存続に向けて全力を尽くしていきたい」との心強い返答を頂きました。

えひめの障がい者アート展 <sup>すすむ</sup> 齊藤進さん(福浦)のふぐちょうちんが優秀賞受賞

12月に開かれた県内在住の障がいのある方を対象としたアート作品展「えひめの障がい者アート展」(愛媛県主催)で、福浦地区在住の齊藤進<sup>すすむ</sup>さんが出品したふぐちょうちんが特選に次ぐ優秀賞を受賞しました。

齊藤さんは右腕に障がいを持ちながら、およそ3カ月かけて今回の受賞作品を制作しました。初めての出品で受賞した齊藤さんは、「見る人見る人がすごいなあと言って喜んでいただいたのが嬉しかった」と喜びを語りました。

“人に笑顔を贈る、福が来る”という想いを込めて15年近くふぐちょうちん作りを続けているという齊藤さんは、「来年はもっと立派な作品を出品して、ぜひ特選を受賞したい」と意気込みを語りました。



受賞後に清水町長を表敬訪問した齊藤進さん(左)



愛媛CATV  
動画

## 失敗しても挑戦を テノヒラのkikuさんが御荘中学生にメッセージ

1月16日(木)に御荘中学校で「テノヒラ講演会」があり、町出身で歌手のkikuさん(テノヒラのボーカル)が全校生徒に歌とメッセージを送りました。

ピアニストの菅原敏<sup>びん</sup>さんをゲストに迎えてステージに立ったkikuさんは、ゴスペル音楽「アメイジング・グレイス」を歌唱し、その後、立候補した生徒や先生とともに「翼をください」を歌い会場を盛り上げました。

会の最後にkikuさんは、「今のうちにたくさんの経験をして、挑戦と失敗を繰り返してください。自分が転んだときの起き上がり方や、自分を元気にする方法を見付けられると、大人になってからもいろんなことを乗り越えていける。失敗しても良いので今やれることを一つ一つ大事にして、それを続けていってください」と力強く呼びかけました。

参加した御荘中2年生の上田蒼将<sup>そうまき</sup>さんは、「失敗したときこそ、そこから歩き出していこうというメッセージや歌に感動した」と感想を述べました。



歌を披露するkikuさん



生徒と一緒に歌唱



座ったままできる体操を教えるごぼう先生こと築瀬寛さん

**高齢者が自立して生きられる社会の確立を**

高齢者が介護を必要とせず、自立した生活を送ることができるように、地域全体で支え合う仕組みなどについて考えることを目的とした「あいなん『活き生き』推進大会2019」が御荘文化センターで開催されました。

講演では、ごぼう先生として知られる築瀬寛さんが椅子に座ったままできる体操などを実践しながら、「自分と向き合い、できることを無理なく続けることが大切」と会場に呼び掛けました。

12/1



愛媛CATV  
動画



障がい者が困っていることについて話し合う城辺中の先生と生徒

**城辺中で障がいへの理解を深める学習会**

城辺中学校で2年生を対象とした「障がいと障がい者への理解を深める学習会」が開催されました。

指定障害児者相談支援事業所「ままと」の竹場妙さんを講師に迎え、障がいや障害者手帳などについて学び、グループワークでは障がい者が何に困っているかなどを話し合いました。

参加した藤本和真さんは、「最適な行動がとれるようにがんばりたい」と感想を述べました。

12/5



愛媛CATV  
動画

12/8

## 災害に対する備えなどを確認 地域住民や防災関係者らが集い防災フォーラム開催



愛媛CATV  
動画



基調講演を行う仙台大学子ども運動教育学科長の久能和夫教授

地域防災力を高め、命を守る行動について考える場を提供する「令和元年度愛南町防災フォーラム」が御荘文化センターであり、地域住民や町職員、地域防災関係者など約400人が来場しました。

東日本大震災発生当時仙台市の小学校で校長を務められていた、仙台大学子ども運動教育学科長の久能和夫教授を講師に招き、「命を守る避難所運営～学校・地域の役割とは～」と題した基調講演が行われました。

久能教授は、当時勤務していた小学校が仙台駅に近い場所に位置していたことから、震災発生直後に帰宅困難者が押し寄せ、電気も情報もない中で教職員が対応に追われた経験を踏まえながら、「避難所運営では想定外のことが起きるので、学校と地域住民が顔の見える関係を築き、有効な対策がとれるように連携を深めておくことが重要」と話しました。

愛媛大学防災情報研究センターの二神透副センター長からの情報提供もあり、阪神淡路大震災や西日本豪雨災害など平成に起こった災害の被災状況を写真などを用いて説明し、「今後発生が予想される南海トラフ巨大地震では愛南町が人口一人当たりの津波リスクが県内で最も高い。災害種類別に最寄りの避難場所を確認しておくなど、事前に情報を収集して備えておかなければならない」と呼び掛けました。



情報提供する愛媛大学防災情報研究センターの二神透副センター長

12/  
10



愛媛CATV  
動画

## 久良の養殖ブリが町内の学校給食に登場

毎月10日に魚を使ったメニューを学校給食の献立に取り入れる取り組み「とこの日」に合わせ、久良の養殖ブリを使ったメニューが町内の小中学校で提供されました。

久良のぶりを使った「久良のぶりとさつまいもの煮びたし」がメニューに登場すると、児童らはおいしそうに給食を味わいました。

久良小6年生の松平大翔やまとさんは、「ブリはどんな料理にしてもおいしいことが分かった」と話しました。



おいしそうにブリの給食を食べる久良小の児童

12/  
10



愛媛CATV  
動画

## 感謝を手紙で 小学生に年賀はがき贈呈

家族や友人に手紙で感謝の気持ちを伝えてもらおうと、南宇和ライオンズクラブが町内の小学5・6年生250人に年賀はがきを贈呈しました。

船越小学校で行われた贈呈式では、萬條司つとむ青少年委員長が代表児童に年賀はがきを手渡しました。

受け取った6年生の森下樹いづみ生さんは、「入院したときに心配してくれたおじいちゃんとおばあちゃんに感謝の気持ちを伝えたい」と話しました。



船越小学校で行われた贈呈式に出席した関係者

12/  
15

## 三遊亭小遊三師匠の語り口に笑いと歓声

御荘文化センターで生涯学習課自主事業による「三遊亭小遊三独演会」が開催され、訪れた来場者が普段触れる機会の少ないプロの落語を堪能しました。

三遊亭小遊三師匠の高座では、手堅い円熟味のある語り口で、一人三役、四役を臨場感たっぷり演技切り、圧倒的な存在感と独特の「リズム」「テンポ」「間」を駆使しながら話す師匠の技芸に観客は引き込まれ、会場はたくさん笑いに包まれました。



独特の間と軽妙な語り口で観客を魅了した三遊亭小遊三師匠

12/  
21



愛媛CATV  
動画

## 小学生が身近な静電気の仕組みを学ぶ

旧東海小学校校体育館で「ワクワク体験教室 静電気について学ぼう！」が開催され、町内の小学生17人が参加しました。

愛媛県総合科学博物館から借用した装置を使ったさまざまな実験を行うことにより、楽しみながら静電気の仕組みを学びました。

参加者からは、「ビリッと静電気を感じるの嫌だけど、生活にも役立っていることや遊べるのが分かった」との声が聞かれました。



静電気発生装置を使った実験で仕組みを学ぶ参加者

## 12/22 地域と一緒に、豊かな食育 長月小学校で食育推進大会開催



愛媛CATV  
動画



食育ソングのダンスを披露する長月小の児童



講演を行う和洋女子大学准教授の多賀昌樹さん

長月小学校屋内運動場で「第10回愛南町食育推進大会」が開催され、約180人が参加しました。

この大会は、食に関する知識を身につけ、健全な食生活を送ることを推進するために行われています。

大会では、長月小学校児童が農業体験や牧場見学、漁場見学から学んだ食べ物の命を頂くことへの感謝の気持ちや地域の方と触れ合う喜びなどについて発表したほか、愛南町食育ソング「いただきます。」のダンスを披露し、会場を盛り上げました。また、休憩中には、児童が育てた「カモ米」を使ったおにぎりやシシ汁などが参加者に振る舞われました。

その後、「未来へつなぐ食のネットワーク～生活リズムの食育～」と題して、和洋女子大学准教授の多賀昌樹さんによる食育講演が行われました。多賀さんは、健康の定義や栄養に関すること、和食の栄養バランス、生活のリズムの乱れによる体の不調などについて説明し、早寝、早起き、朝ごはんをキーワードに食育の重要性について講演しました。

農業体験について発表した長月小2年生の岡野瑚夏さんは、「1年生のときよりもミニトマトがたくさんできて、甘く育った。発表は少し恥ずかしかったけど、良くできた」と感想を述べました。



情報を整理し、対応策について話し合う職員

役場本庁3階大会議室で「県・市町災害対策本部合同運営訓練」が行われました。訓練では、和歌山県南方沖を震源とするマグニチュード9.1の地震が発生し、町内で最大震度7、広い範囲で震度6弱以上の強い揺れを観測したという想定で、発生から24時間後における情報収集や伝達、応急対策の検討などが行われました。職員らは情報を整理・共有し、残された課題や次々に入る災害の情報などについて対処しました。

## 12/23 県と町が連携して災害 対応訓練

12/23



愛媛CATV  
動画



サンタクロースからプレゼントを受け取る城辺保育所の園児

11月末に城辺保育所の年長園児32人がサンタクロース宛てに手紙（絵）を書く、ゆうびんごっこを行い、その手紙を城辺郵便局の社員が配達したところ、サンタさんがお礼にプレゼントを持参して城辺保育所を訪れました。城辺郵便局の社員が手作りのクリスマスカードや郵便局グッズなどが入った小袋を持参したサンタさんは、各クラスを回って子どもたちにプレゼントを手渡しながら感謝の気持ちを伝えました。

## 12/25 手紙のお礼にサンタさんが城辺保育所へ

12/25



愛媛CATV  
動画

12/  
27

## 健康や家内安全を祈願 福浦でしめ飾り作り

福浦公民館でしめ飾り作りがあり、福浦老人クラブ「鶴寿会」の会員指導の下、福浦小学校2年生から6年生までの児童9人とその保護者、教職員が製作を行いました。

参加者は「鶴寿会」会長の松本仗さんから、しめ飾りには家内安全や健康・家の繁栄を願う意味があることを教わり、その後、約1時間かけてしめ飾りを完成させました。

6年生の中野幸村さんは、「わらを押さえて巻くのが難しかった」と話しました。



老人クラブの会員からしめ飾りの作り方を教わる福浦小の児童

1/  
5

## 水産業の振興を祈願 愛南漁協で初市式典

令和2年の初市を祝う式典が愛南漁協深浦本所であり、関係者が集って酒樽を割る鏡開きや三本締めなどを行い、市場の盛況や漁協事業の発展を祈願しました。

式典では立花弘樹組合長が、「昨年は真珠母貝の大量へい死が発生するなど、水産業関係者にとっては大変厳しい状況であった。愛南町の最大の強みである産官学がワンチームで連携し、漁協としても盤石な組合経営をしていきたい」と意欲を述べました。



鏡開きを行い水産業の振興を祈願する関係者

1/  
8

## 健康を願い一本松小で 七草がゆづくり

一本松小学校で3年生を対象とした七草がゆづくり体験があり、愛南町食生活改善推進協議会一本松支部が指導を行いました。

会員が七草がゆの由来や七草の種類などについて説明し、その後、調理を行いました。児童は慣れない包丁の扱いや鍋の火加減に苦労しながらも、会員からコツを教わり、おかゆを完成させました。

除本雄星さんは、「七草がゆの作り方が分かって良かった」と話しました。



会員から七草の調理の仕方を教わる一本松小の児童

## 写真もたくさん配信 町公式フェイスブック(Facebook) 「ぎゅぎゅっと!愛南」をご覧ください

町では、公式フェイスブック「ぎゅぎゅっと!愛南」を運用し、行政からのお知らせや町で活躍する人の紹介、スポーツ大会の情報などを幅広く発信しています。

紙面のスペースの都合で広報あいなん(紙面)には掲載できなかった写真もたくさん使用していますので、右記のQRコードからアクセスしてご覧ください。



町公式  
Facebook

|| 問：総務課 電話：72-1211

